

## 薬用作物産地支援 栽培技術研修 熊本会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物（特に国内生産重点品目）の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 人吉市カルチャーパレス（熊本県人吉市下城本町1578番地1） 第10会議室

実施時期： 12月19日(火)～20日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
12月19日(火)	12:30-13:00 (30分)	12:20現地集合 場所：人吉駅前 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:00-15:00 (120分)	【講義・現地研修】 薬用作物の栽培技術等について	「あさぎり薬草合同会社」における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	那須 健助	あさぎり薬草合同会社 代表社員
	15:00-15:30 (30分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	15:50-16:40 (50分)	【講義】 薬用作物の国内生産拡大の取り組み	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班
12月20日(水)	9:30-11:00 (90分)	【講義】 薬用作物の産地化に必要な技術と生産者の向き合い方	薬用作物の産地化方法について、成功・失敗事例を踏まえて解説する。	渥美 聡孝	九州保健福祉大学 薬学部 薬学科 准教授
	11:10-11:50 (40分)	【講義】 由布市における薬用作物産地育成の取り組み	由布市における薬用作物（トウキ、シャクヤク等）の産地化に向けた取り組みについて紹介する。	高田 龍也	由布市わくわく農業会議
	11:50-13:00	昼休み			
	13:00-14:30 (90分)	【情報交換会】 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:30-14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

※ 内容は一部変更の可能性があります。